

議会

No. 249



議会に対するご意見
をお聞かせください。

電話

☎0269 (82) 3111
(内線170)

E-mail

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会

年頭の「あいさつ」



木島平村議会議長

萩原 由一

明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健康で、希望に満ちた輝かしい初春を迎えられましたことと、心からお喜び申し上げます。

また、日頃から議会活動に対しまして、深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜りますことを、厚く御礼申し上げます。

私ども議員は、今年の4月で任期満了となるところですが、残された期間を村民の皆様の負託と信頼に応えるべく、議員一丸となり村の伸展に全力で尽くしてまいる所存であります。


さて、振り返りますと昨年は暮れ前から多くの降雪があり、近年稀にみる豪雪の年となりました。ここ数年来の雪不足が嘘のような状況となり、スキー場ではありがたい降雪であったものの、役場の観測所でも最大積雪が2メートルを超えるときもあり、雪下ろしや除雪作業など大変ご苦勞をされた年でありました。

夏には集中豪雨や昨年発生が多かった台風、とりわけ9月に発生した台風15号は静岡県に甚大な被害をもたらしたことは記憶に新しい所であります。幸いにも本村においては土砂崩落等の発生はあったものの、いずれも大規模なものではなく、比較的平穏な年でありました。本年も引き続き災害のない村であることを願うばかりです。

一方、道路等交通網整備に目を向けますと、懸案でありました国道403号柳久保地区の未改良箇所の解消、蛭川橋ひるがわから中央橋方面へは春以降拡幅改良工事が順次進められ、県道では西小路の交差点から水穂神社までの間の拡幅改良が数年間の計画で施行される予定であります。道路は地域経済の発展の大動脈となることから一刻も早い完了が待ち望まれるところです。

コロナ禍が続いておりますが、皆様におかれましては、村政の推進に一層のご支援とご協力をいただきますことを心からお願い申し上げます。

結びに、新たな年が、木島平村、そして皆様方にとりまして、ご健勝で実り多き佳き年となりますようご祈念申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。



令和4年12月 第4回定例会

令和4年度補正予算など26議案を審議

11月24日から12月15日まで

令和4年度 一般会計補正予算 6,014万円 増額 (年間予算総額 40億280万円)

今議会では、人事院勧告に係る条例改正、公務員の定年延長に係る条例改正等のほか、補正予算では人事院勧告に伴う人件費・共済費の増額、価格高騰が続いている各公共施設の電気料の増額、農林産業関係の資材高騰対策などが上程され、すべての議案を全会一致で可決しました。

令和4年度 主な補正予算 (千円以下四捨五入) *▲は減額		可決
一般会計		
総務課		
○総務管理費 335万円		
・防犯灯等の電気料(28万円)および修繕費(14万円)		
・庁舎の電気料(280万円)、電話料(9万円)および電気設備の点検委託料(4万円)		
○消防費 70万円		
・消防団員退職金		
〈役場庁舎を除く各公共施設の電気料増額〉 (一般会計)		
・保健センター(44万円) ・おひさま保育園(495万円)		
・小学校(122万円) ・中学校(185万円)		
・給食センター(51万円) ・若者センター(21万円)		
・農村交流館(33万円) ・村体育館(12万円)		
・クロスカントリー競技場(33万円)		
・有機センター(331万円) ・ファームス木島平(90万円)		
・ケヤキの森、ポケットパーク(34万円)		
	計1,451万円	
民生課		
○社会福祉費 146万円(県費含む)		
・高齢者にやさしい住宅改修補助金(6万円)		
・弱者世帯のトイレ水洗化補助金(31万円)		
・障がい者地域生活支援事業に係る補助金(34万円)		
・福祉医療費の実績による増額(75万円)		
○保健衛生費 51万円(共済金含む)		
・診療所修繕工事に係る材料費・人件費高騰による増額(26万円)		
・生ごみ処理機(コンポスター)補助金(5万円)		
・保健センターの資材高騰による修繕費の増額(20万円)		
教育委員会		
○教育総務費 22万円		
・スクールバスのドライブレコーダー(3台分)		
○保健体育費 64万円		
・ジャンプ台昇降階段の増設修繕費		
○社会教育費 38万円		
・和算(江戸時代の測量技術)の師匠である芳澤湖竹さん(馬曲)の秘伝書購入費(6万円)		
・根塚遺跡の国の重要文化財指定に向けた報告書作成に係る費用(25万円)		
・根塚遺跡から出土した三韓土器・鉄剣が九州国立博物館で展示されることに伴う旅費等(7万円)		
産業課・産業企画室		
○農業費 2,567万円(国・県費含む)		
・きのこ資材高騰対策補助金(1,200万円)		
・電気柵補助金の増額(150万円)		
・家畜飼料高騰に対する補助金の増額(200万円)		
・ファームス木島平の運営方針が未定のため、屋根改修計画を見送り、設計委託料を減額(▲517万円)		
・特別栽培米に対する補助金の増額(20万円)		
・ふるさと納税の見込み増加に伴う返礼品費用(1,200万円)およびシステム使用料(314万円)		
○商工費 131万円(共済金含む)		
・制度資金貸付実績に伴う信用保証協会補給金(60万円)		
・創業支援補助金2件分の増額(200万円)		
・カヤの平総合案内所の修繕工事において、資材価格の高騰等により落札者がいなかったことに伴い、次年度に計画を見送るため工事費を減額(▲129万円)		
建設課		
○土木管理費 19万円		
・デマンドバスおよびシャトル便のドライブレコーダー(3台分)		
○道路橋りょう費 686万円		
・道路路肩草刈機の修繕費(74万円)		
・除雪車両のチェーン購入費(206万円)および点検費用(406万円)		

特別会計

主な歳入は一般会計からの繰入金。

○情報通信 79万円

〔総額〕 7,382万円

- ・施設の電気料および非常用発電機点検料等

○後期高齢者医療 187万円

〔総額〕 6,217万円

- ・実績による保険料の増額

○介護保険 ▲36万円

〔総額〕 6億5,278万円

- ・給付実績等による減額

○国民健康保険 12万円

〔総額〕 5億2,912万円

- ・国保加入者の葬祭費(5万円/件)の増額、令和3年度実績による県返還金ほか

○観光施設 ▲292万円

〔総額〕 1億4,739万円

- ・パノラマランドの改修工事が完了したことに伴う減額

水道事業会計

○修繕費 200万円 (共済金含む)

- ・落雷による破損のため、平沢配水池の水位計修繕費を増額

○動力費 120万円

- ・電気料

○水道建設改良費 92万円

- ・北鴨区の消火栓取替工事費

条例

可決

◆議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

◆特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正

◆一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

- ・人事院勧告*による「一般職の職員の給与に関する法律」の一部改正に伴い、議会議員及び常勤の特別職については「期末手当の支給月数」を、一般職の職員については「勤勉手当の支給月数」をそれぞれ勧告に基づいて改正。
- ・「定年延長に係る地方公務員法」の改正に伴い、「60歳を超える職員の給料7割措置」等の規定を加える。

※人事院勧告…

国の独立機関である人事院は、毎年、民間企業の給与を調査し、役職、勤務地域、学歴、年齢等による給与の比較を行い、国家公務員の給与水準を民間企業に準拠することを基本に、国会・内閣・各機関の長等に、給与等の改善勧告を行っています。

これを受け、地方自治体でも、国家公務員給与の増減割合に応じた給与改定の条例案及び補正予算案を議会に上程しています。

◆村議会議員及び村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

物価高騰等を考慮し、「公職選挙法の一部改正」がされたことに伴い、選挙運動用自動車及び選挙運動用ビラなどの公費負担額の単価を改正。

◆職員定数条例の一部改正

職員定数条例に示された職員の定数を、現行を考慮し115人から90人に減員。

◆職員の定年等に関する条例の一部改正

地方公務員法の改正に伴い、職員の定年について60歳から65歳に引き上げる。

令和5年4月から定年を段階的に引き上げ、令和13年4月から65歳とする。

◆職員の分限に関する条例の一部改正

定年延長に伴い、降給の種類に役職定年の規定等を加える。

◆職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正

定年延長に伴い、「再任用短時間勤務職員」を「定年前再任用短時間勤務職員」に変更。

◆職員の懲戒に関する条例の一部改正

定年延長に伴い、すでに減給されている職員が降給となった場合の規定を追加。

◆木島平村消防団条例の一部改正

消防団員の負担軽減を進めるため、消防委員会の答申を受け、団員定数を296人から261人に改正。

◆特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

- ・消防団に新たに位置づけられた「機能別団員の報酬額」を追加。
- ・「投票所立会人の報酬額(日額以外)」の規程を追加。

◆カヤの平高原保健休養施設条例の全部改正

カヤの平高原(総合案内所・キャンプ場等)を指定管理者制度*とし、管理者の創意工夫に基づいた運営により、質の高いサービスを提供するための改正。

※指定管理者制度とは…

公の施設をノウハウのある民間事業者等が管理する制度です。多様化する住民ニーズに応えやすくなり、自治体にはないサービスを提供することができます。

人事 同意

◆教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

氏名:梅寄 舞子さん(南鴨)

任期:令和4年12月25日から令和8年12月24日

「令和4年10月臨時会 審査意見」に対する村の対応

委員会審査の結果で出された「審査意見」に対する村の対応の報告です。(要旨抜粋) (令和4年11月24日本会議「諸般の報告」より)

予算決算常任委員会

※12月定例会の審査意見はありません。

意見	地方創生臨時交付金の使い道について、産業振興に偏るのではなく、生活困窮者の実態把握に努め、対処されたい。	対応	国からの地方創生臨時交付金を財源に、独自に、低所得高齢者、障がい者等のいる世帯に、光熱水費等への支援として、10月末までに5万円/世帯(計171世帯)を給付。また、子育て世帯生活支援特別給付金に対象児童1万円/人を上乗せして、子育て世帯やひとり親世帯の児童(計70人)を対象に給付。今後も、国県の支援事業を適切に進め、民生児童委員、社会福祉協議会、教育委員など関係者および関係機関と連携し、困窮状況の把握に努め、村民の生活と暮らしを支援していく。
-----------	--	-----------	---

各議員の一般質問の項目

12月7・8日に、8人の議員が一般質問を行いました。質問・答弁の要旨は来月(2月号)の議会だよりに掲載します。

第1日目(12月7日)

●江田 宏子

- ①観光施設等の今後の方針について
- ②教育長就任にあたっての構想・抱負等について
- ③高齢者の支援事業について

●山浦 登

- ①マイナンバーカードについて
- ②観光施設民営化について
- ③旧統一教会関連団体との関わりについて
- ④過疎化と地域振興について
- ⑤有機センターについて

●土屋 喜久夫

- ①ゼロカーボン施策の展開について
- ②地域おこし協力隊、集落支援員の活動実績について
- ③インクルーシブ教育システムの在り方について
- ④振興計画アンケートの在り方について

●山崎 栄喜

- ①村の財政について
(財政計画、実施計画、新来年度予算編成について)
- ②新教育長を迎えて

第2日目(12月8日)

●勝山 正

- ①令和5年度予算編成にあたり
- ②ファームス木島平・観光交流センターについて

●丸山 邦久

- ①道の駅ファームス木島平の今後の運営について
- ②観光施設の譲渡について
- ③木島平村の産業振興策について

●勝山 卓

- ①観光施設の民営化について
- ②道の駅ファームス木島平の運営改善方針について

●山本 隆樹

- ①リカレント教育の推進について
- ②調布市民との更なる交流を
- ③観光施設の民営化について



次回定例会の開催予定

【令和5年3月議会定例会】

- 開会日…2月24日(金)
- 一般質問①…3月7日(火)
- 一般質問②…3月8日(水)
- 閉会日…3月17日(金)

※現時点での予定です。

請願・陳情
の受付
締切日

2月9日(木)午後5時

議会議務局へ直接お持ちいただき、職員に説明をお願いします。

定例会・臨時会の会議録は、どなたでもご覧いただけます

会議録は、定例会・臨時会の本会議記録を載せています。次の場所・方法で閲覧できます。

- ・役場2階の議会議務局での閲覧(平日午前8:30～午後5:15)
- ・村ウェブサイトに掲載

スマートフォン・タブレットからは、QRコードの読み取りでもご覧いただけます。



*ウェブサイトへのアクセスは、次の順に進んでください。

木島平村ウェブサイト → 行政ページ → 行政情報 → 木島平村議会 → 会議録

※12月定例会会議録は、現在作成中のため次回定例会までに掲載予定です。